

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月7日
【四半期会計期間】	第73期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社サンテック
【英訳名】	Sanyo Engineering & Construction Inc.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 八幡 欣也
【本店の所在の場所】	東京都千代田区二番町3番地13
【電話番号】	(03)3265 - 6181（大代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 船戸 文英
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区二番町3番地13
【電話番号】	(03)3265 - 6181（大代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 船戸 文英
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社サンテック広島支社 （広島市中区大手町五丁目3番18号） 株式会社サンテック大阪支社 （大阪市北区中津一丁目7番8号） （注） 株式会社サンテック広島支社及び大阪支社は、法定の縦覧場所では ありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としておりま す。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第3四半期 連結累計期間	第73期 第3四半期 連結累計期間	第72期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	30,681,572	32,095,137	45,051,208
経常利益 (千円)	324,235	412,926	1,170,852
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	129,949	205,245	683,608
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	195,247	616,603	360,963
純資産額 (千円)	29,411,761	29,843,397	29,974,472
総資産額 (千円)	43,821,191	44,590,168	46,541,177
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7.42	12.11	39.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	67.1	66.8	64.3

回次	第72期 第3四半期 連結会計期間	第73期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失 (円)	3.96	14.15

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループは、第12次中期経営計画（2019年4月～2022年3月）に基づき、「信頼と企業ブランドの確立（Next Stage）を目指し、選ばれる会社への挑戦」に向けて、「お客さま等のニーズに応え受注拡大に繋げる営業力の強化」、「品質・安全の確保と生産性向上による施工力強化と利益の確保」、「企業の礎と将来を担う人財の確保と育成」、「ガバナンスの確保」の4項目を重点方針として取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高324億18百万円（前年同四半期比1.8%減）、売上高320億95百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益が増加し営業損失3百万円（前年同四半期は営業損失32百万円）、受取地代家賃3億94百万円、受取配当金1億5百万円の計上などにより経常利益4億12百万円（前年同四半期は経常利益3億24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億5百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億29百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

当第3四半期連結累計期間の売上高は215億99百万円（前年同四半期比6.4%増）となり、営業利益は6億2百万円（前年同四半期は、営業利益4億95百万円）となりました。

（東南アジア）

当第3四半期連結累計期間の売上高は82億93百万円（前年同四半期比2.3%減）となり、営業利益は80百万円（前年同四半期は、営業利益1億51百万円）となりました。

（その他アジア）

当第3四半期連結累計期間の売上高は22億24百万円（前年同四半期比10.8%増）となり、営業利益は1億23百万円（前年同四半期は、営業利益71百万円）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億51百万円減少し、445億90百万円となりました。主な要因は、未成工事支出金3億9百万円の増加、時価の上昇や業務提携を前提としたベトナム大手設備工事会社の株式取得による投資有価証券11億40百万円の増加に対し、現金預金19億10百万円や受取手形・完成工事未収入金等18億40百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億19百万円減少し、147億46百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金7億49百万円の増加に対し、支払手形・工事未払金等22億77百万円や未払法人税等4億39百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、298億43百万円となりました。主な要因は、利益剰余金2億8百万円の減少などによるものです。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,000,000	18,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式で あり、単元株式数は、100株 であります。
計	18,000,000	18,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	18,000,000	-	1,190,250	-	-

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】  
【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,271,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,699,900	166,999	-
単元未満株式	普通株式 29,000	-	-
発行済株式総数	18,000,000	-	-
総株主の議決権	-	166,999	-

(注)1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が86株含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サンテック	東京都千代田区二番町 3番地13	1,271,100	-	1,271,100	7.06
計	-	1,271,100	-	1,271,100	7.06

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東邦監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	9,358,365	7,447,895
受取手形・完成工事未収入金等	16,169,680	14,329,142
電子記録債権	906,911	1,048,217
未成工事支出金	293,029	602,552
その他	979,531	1,388,919
貸倒引当金	54,877	59,417
流動資産合計	27,652,640	24,757,310
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	4,231,579	4,282,124
その他(純額)	2,760,385	2,647,427
有形固定資産合計	6,991,964	6,929,552
<b>無形固定資産</b>		
のれん	488,858	376,044
その他	801,038	832,175
無形固定資産合計	1,289,896	1,208,220
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,176,027	5,316,792
投資不動産(純額)	5,235,548	5,198,314
繰延税金資産	529,384	497,905
その他	757,153	773,503
貸倒引当金	91,440	91,430
投資その他の資産合計	10,606,675	11,695,085
固定資産合計	18,888,536	19,832,858
資産合計	46,541,177	44,590,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金等	9,350,977	7,073,653
電子記録債務	1,449,721	1,741,030
短期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	474,228	34,239
未成工事受入金	2,133,670	2,883,543
完成工事補償引当金	47,203	18,000
工事損失引当金	50,768	58,147
賞与引当金	352,665	11,591
その他	1,023,511	1,166,751
流動負債合計	14,922,748	13,026,955
<b>固定負債</b>		
長期借入金	496,000	365,199
繰延税金負債	454,033	659,311
役員退職慰労引当金	4,161	5,226
執行役員退職慰労引当金	27,200	33,522
退職給付に係る負債	35,419	35,264
その他	627,142	621,291
固定負債合計	1,643,956	1,719,814
負債合計	16,566,704	14,746,770
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,190,250	1,190,250
資本剰余金	2,007,002	506,235
利益剰余金	27,555,549	27,347,245
自己株式	2,077,654	914,496
株主資本合計	28,675,146	28,129,234
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,151,990	1,617,385
繰延ヘッジ損益	12,563	-
為替換算調整勘定	157,564	67,669
退職給付に係る調整累計額	56,510	40,871
その他の包括利益累計額合計	1,265,608	1,644,184
非支配株主持分	33,717	69,979
純資産合計	29,974,472	29,843,397
負債純資産合計	46,541,177	44,590,168

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	30,681,572	32,095,137
売上原価	27,635,369	28,961,344
売上総利益	3,046,203	3,133,792
販売費及び一般管理費	3,078,307	3,137,667
営業損失( )	32,104	3,874
営業外収益		
受取利息	5,350	13,566
受取配当金	78,498	105,279
受取地代家賃	338,002	394,371
為替差益	112	-
その他	147,008	149,254
営業外収益合計	568,971	662,471
営業外費用		
支払利息	10,595	7,621
不動産賃貸費用	136,762	129,078
為替差損	-	47,095
その他	65,274	61,875
営業外費用合計	212,632	245,671
経常利益	324,235	412,926
特別利益		
投資有価証券売却益	1	107,187
その他	61,848	1,690
特別利益合計	61,849	108,877
特別損失		
固定資産売却損	60	8,810
投資有価証券売却損	-	7,740
その他	11,425	1,700
特別損失合計	11,486	18,250
税金等調整前四半期純利益	374,598	503,552
法人税等	228,115	265,525
四半期純利益	146,483	238,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,534	32,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,949	205,245

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	146,483	238,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324,242	465,395
繰延ヘッジ損益	32,716	12,563
為替換算調整勘定	49,065	89,894
退職給付に係る調整額	1,138	15,639
その他の包括利益合計	341,730	378,575
四半期包括利益	195,247	616,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,643	613,382
非支配株主に係る四半期包括利益	603	3,221

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	360,097千円	360,944千円
のれんの償却額	112,813 "	112,813 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	482,796	27	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	413,548	24	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年5月10日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月31日付で、自己株式2,000,000株の消却を、2019年8月23日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月28日付で、自己株式502,300株の取得をそれぞれ実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,500,766千円減少し、自己株式が1,163,220千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が506,235千円、自己株式が914,496千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,294,822	8,402,663	1,984,086	30,681,572	-	30,681,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	86,803	23,268	110,072	110,072	-
計	20,294,822	8,489,467	2,007,354	30,791,645	110,072	30,681,572
セグメント利益又は損失 ( )	495,441	151,377	71,810	718,630	750,734	32,104

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 750,734千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,599,216	8,279,947	2,215,973	32,095,137	-	32,095,137
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	13,750	8,804	22,555	22,555	-
計	21,599,216	8,293,698	2,224,777	32,117,692	22,555	32,095,137
セグメント利益又は損失 ( )	602,168	80,312	123,399	805,880	809,755	3,874

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 809,755千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	7円42銭	12円11銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	129,949	205,245
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	129,949	205,245
普通株式の期中平均株式数(株)	17,520,183	16,952,089

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月7日

株式会社サンテック  
取締役会 御中

東邦監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小宮 直樹 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 石井 克昌 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンテックの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンテック及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。